

新婦人しんぶん

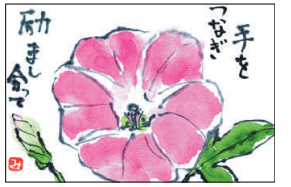
新日本婦人の会目的
☆核戦争の危険から女性と子どもの生命をまもりまします。
☆憲法改悪に反対、軍国主義復活を阻止します。
☆生活の向上、女性の権利、子どものしあわせのために力をあわせまします。
☆日本の独立と民主主義、女性の解放をかちとりまします。
☆世界の女性と手をつなぎ、永遠の平和をうちたてまします。

新日本婦人の会は国連に認証されたNGOです。あなたも一緒に

◆次回の発行は、8月8日号です。

今週の紙面

■2面 談話／女性ニュース ■3面 読者のページ／まんが／俳句／詩 ■4・5面 めちゃくちゃな政治に抗議／女性 働く／ホットライン ■6面 農に生きる／私のまちですすむ大軍拡／時事・クローズアップ ■7面 新婦人の活動／主張／母の歴史



神奈川・藤沢市 中村道子

沖縄県知事選挙 8月27日告示・9月13日投開票

だれひとり取り残さない 沖縄さらに

南風原(はえはる) 町政報告会であいつる玉城デニー知事(今年5月)



未来の世代に渡していくために

「3期目のとりくみは、沖縄が真に豊かさを実感できる島にしていけるためのあらゆる政策をくまなく実施し、未来の世代に渡していくための重要な礎になると信じています」。

「辺野古の埋め立て、県民を裏切る政府の方針には怒りが込み上げます。…どのような強風が吹きつけようとも、私は足を踏ん張って、県民のために全身全霊で向かってまいります」と、3期目をめざす記者会見などで。

たまきデニー 1959年うるま市生まれ。2002年政界へ、沖縄市議1期、衆院議員4期、沖縄県知事2期

玉城デニー知事とともに 平和で豊かな島へ

玉城デニー知事の3選をめざす沖縄県知事選挙が、8月27日告示、9月13日投開票でたたかわれます。沖縄の平和と暮らしを守り、高市自民・維新政権の大軍拡に審判を下す、全

生活が破壊する物価高がすすむなか、政府は本来、暮らし支援に使ってきお金を、軍事費に回しています。街で対話すると、「物価を何とかしてほしい。お米代が負担、高校の授業料が無償化されても、通学費や昼食代、部活動など支出は増えるば

少なくなりません。かり(子育て中の女性)、「高市さんは弱い人たちを顧みない。戦争になったら一番犠牲にさせられるのは私たち(障害のある女性)など、暮らしの大変さ、今の政治への不安と怒りを語る人が

玉城デニー知事は「命どう宝」を掲げ、2期8年間、子どもの貧困対策や子育て世帯、高齢者への支援など県民の暮らしを支える施策を進めてきました(右)。

その内容は「交通費が高くアルバイトで残業。勉強できない」の高校生の声にに応えた中高生の通学費支援、敬老パスの実現に向けての実証実験など、多岐にわたります。

県内では、自衛隊基地の建設が進み、音楽会やエイサーを通して学校生活や地域の行事に自衛隊が入り込み、多くの県民が「沖縄が再び戦場になるのではなか」という不安を切実に感じています。

憲法9条を暮らしに

デニー知事の3選勝利を願う一番の思いは、高市政権が米軍とともに進める「戦争する国づくり」への強い危機感です。先島諸島では戦争前提の避難計画が進められていま

○一人暮らしの高齢者や低所得者、困窮世帯への支援(電気、ガス、水道料金支援、商品券、食料品提供など)
○貧困対策基金60億円に若者支援20億円を積み増し
○65歳以上の高齢者などのバスとモノレール乗車代半額割引(実証実験)
○賃上げ企業に給付金20億円(正規雇用化、奨学金返済支援企業に県も支援)

イラン戦争、ナフサショックから県民生活を守る緊急対策(6月補正予算177億円)

資金繰りのための融資、県独自に支援/医療・介護・保育施設を支援/電気・LPガス代の負担減/離島航路の燃料代支援など



※25年ぶりに全会一致で可決

暮らしを守る県政 玉城デニー県政の実績

過去最高の県予算を実現!

国の振興予算が減る中で 県経済を成長させ、自主財源を拡大



全国から寄せられた募金を手渡す(右から久手堅会長、玉城智恵子さん、里道事務局長)

8月15日号は休刊です

